

創立30周年特集号

やわたコミュニティ

第 8 2 号
平成27年5月17日発行 八幡コミュニティ
責任者 寺島康夫 TEL 33-3230
印刷 八幡コミュニティ
編集 総合管理部

祝 創立三〇周年

八幡コミュニティは、昭和六〇年に「八幡小学校区コミュニティ推進協議会」として誕生しました。爾来、幾多の先輩諸氏から受け継がれたコミュニティ精神が八幡地区に根付いて、平成二十七年一月二七日に創立三〇周年を迎えることができました。

住民同士のふれあい、あたたかい人間関係に支えら

創立三〇周年に
寄せて八幡コミュニティ
第3代会長 鈴木武夫

先人の業績に感謝しつつ、住民の安全と幸せを守る努力を積み重ねて而立（じりつ、三〇年）を迎えました。

思い起こせば平成五年朝倉線に山と積まれた粗大ゴミを、住民の力で取り除き、美しいまちづくりに貢

れ、住みよいまちづくりをみんなの力で実現しよう、そうした活動の成果が今日の八幡を形作ったのだと思います。

過去があつて現在があるように、現在のわたくしたちが未来の展望に大きく関わっていることを自覚しなければなりません。先人の英知を次の世代へ引き継ぎ、新たな三〇年後に向けて、今、第一歩を踏み出そうとしているのです。

献しました。さらにリサイクル運動を立ち上げ資源の活用に一役買ひまして今のリサイクルの礎をつくりました。

この実践をしたのは、浜小根のみなさんです。本当に頭が下がりました。

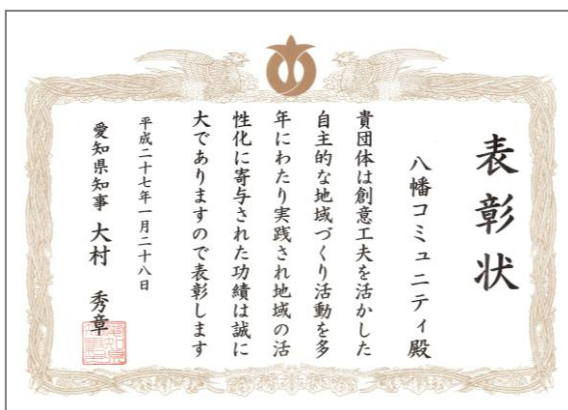
地域の和と生活上を、みなさんからいただいた英知と結束で築き上げた思い出深い三〇年でありました。

今後、この地域を豊かにするための新しいドラマが生まれることでしょう。

そのドラマが人をつくり、さらに歴史をつくって行くことを祈念しまして、筆を置きます。

地域づくり活動
知事表彰

表彰状



知多・八幡の団体、市長に報告

平松正毅まちづくり推進部長。早川会長は「自分たちの地域をよく知り、愛着を持つことが、コミュニティを良くすることにつながる」と話し、創立三十周年の節目の受賞を喜んだ。

宮島市長は「昔の記憶を次世代に継承する素晴らしい取り組み。後継者を育てて継続してほしい」と期待を込めた。

八幡コミュニティは「大薬師の一つとされる薬王山法海寺の仁王門など、郷土愛やまちづくりへの意欲を育む活動が評価された。市役所を訪れたのは他に職員生男副会長と。

表彰理由

愛知県地域づくり活動表彰は、県内の地域づくり活動の推進を図るため、創意工夫を活かした自主的な地域づくり活動に功績のある団体を表彰する事業で、平成十五年度から実施しております。平成二六年度は、八幡コミュニティと豊川稲荷表参道発展会の二団体が知事表彰されました。

運動会や緑化推進運動といったコミュニティ活動に止まらず、住民参加のもと、地域の伝統芸能や貴重な文化財の継承・保存に尽力し、郷土の歴史を伝える「八幡塾」を開催するなど地域への愛着を育むことに取り組んでいる。

八幡小学校区コミュニティ推進協議会

昭和60年1月27日発足

歴代コミュニティ会長

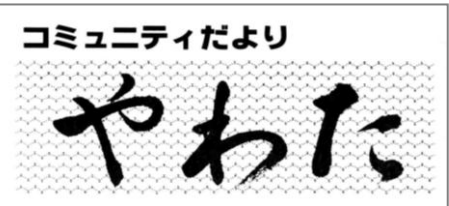
初代会長 鰐部丹蔵



昭和60年～62年度

第2代 加古美夫	第3代 鈴木武夫	第4代 早川峰生	第5代 平松典保
昭和63～平成4年度	平成5～7年度	平成8～12年度	平成13～17年度

広報紙の題字



第12回 わがまち再発見

「杉山村」は平井村の枝郷として開拓されこの村は、江戸時代四十戸余りの小さな村であり「杉山組」とよばれ村は細長い集落で、その裏は大小の丘があり、夏にはホタルが沢山飛びかっていた。そのため他の村の人々は杉山のことを「ホータイロ」と呼んでいた。私と言われたことがあり、それだけ水田が多かったのである。杉山の中では通称で呼ばれていた呼び名がありその一つは「奥」で杉山組の中

「杉山組」(つづいませ)杉山組の番所前の東にあたり水田地帯の地名であり簡井前公園として名が残っています。(四頁へつづく)

杉山

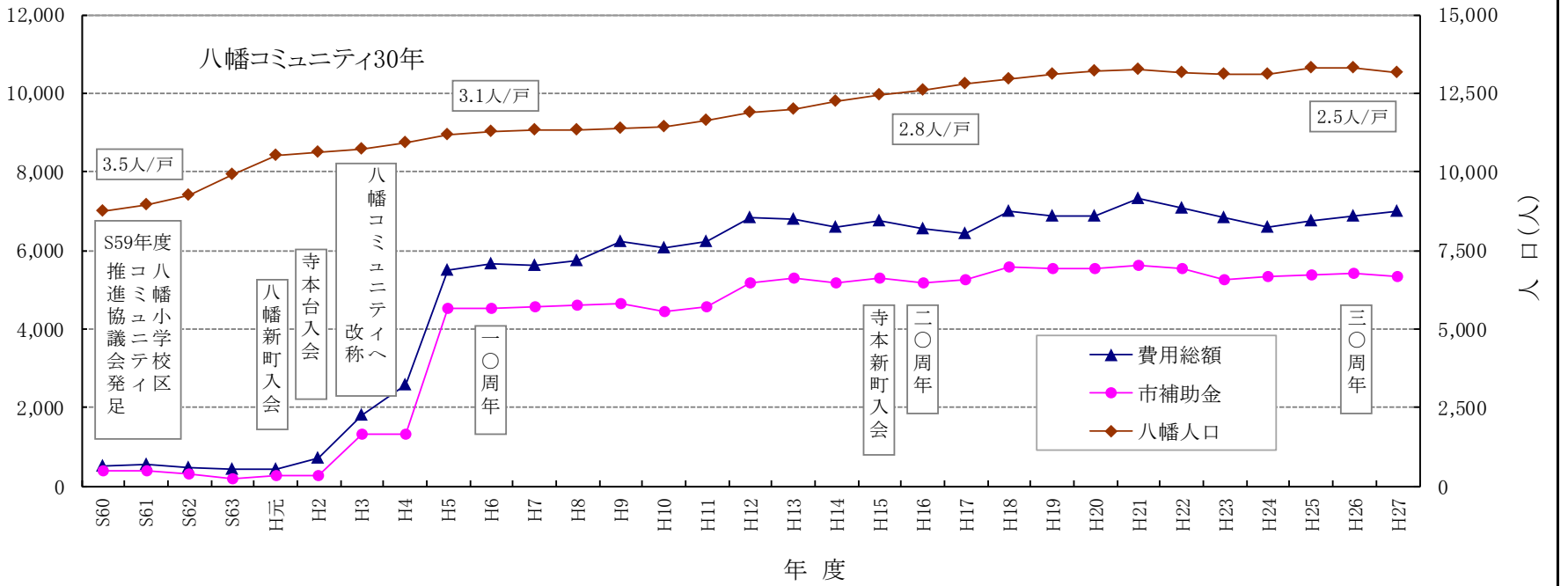
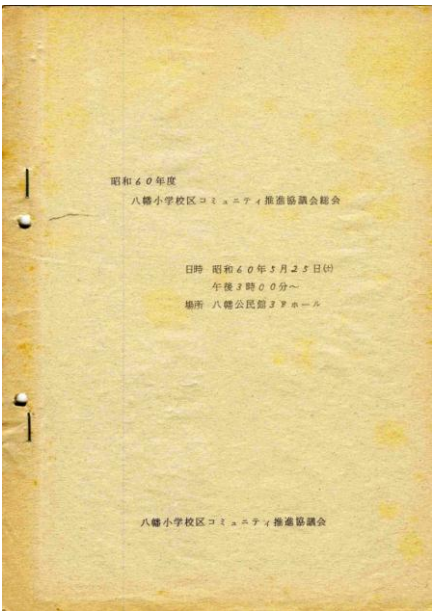
二六年度組長 下村賢治

シンボルマーク

昭和61年8月1日の広報紙第2号で、コミュニティのシンボルマーク決定が通知されている。
第3号から第51号まで題字「やわた」の横に掲出されるようになったが、題字を「やわたコミュニティ」に変更した第52号から省略された。

第1回総会資料

昭和60年5月25日開催

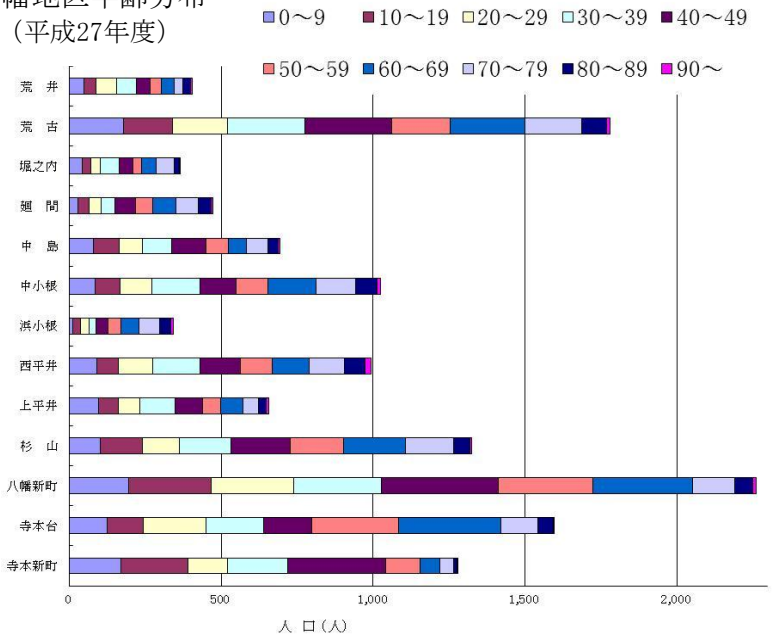


八幡コミュニティ部会編成推移

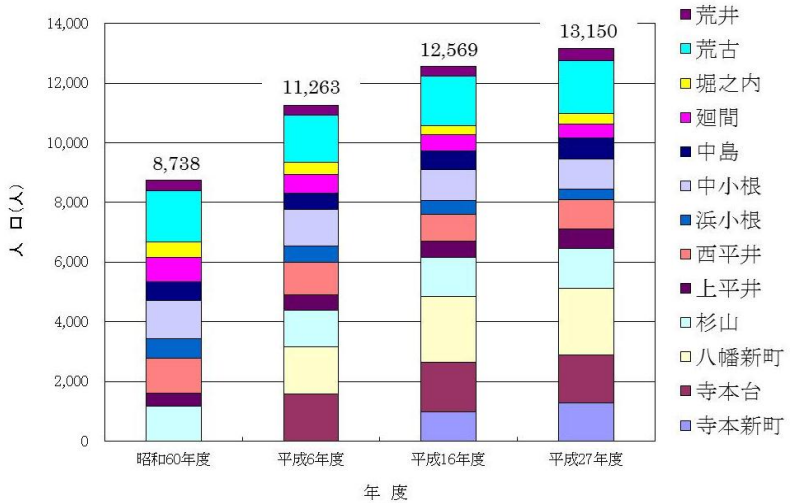
年度	昭和60年度	昭和62年度	平成7年度	平成9年度	平成12年度	平成19年度	平成22年度	平成23～27年度
1	総務広報部会	広報部会					広報部会	
2	社会文化部会	文化部会		文化福祉部会				文化・福祉部会
3	青少年健全育成部会	青少年育成部会						青少年健全育成部会
4	体育部会							体育部会
5	環境安全部会	環境部会	環境安全部会					環境・安全部会
6					盆おどり推進委員会		盆おどり推進委員会	
7					運動会推進委員会		運動会推進委員会	
8						祭囃子復活推進委員会	祭囃子復活推進委員会	
9							生涯学習活動推進室	生涯学習まちづくり推進本部
10								総合管理本部
11								地域管轄部会
12								防災部会 → 防災・減災部会

八幡地区年齢分布

(平成27年度)



八幡各地域の人口推移



杉山

二六年度組長 下村賢治

(三頁からのつづき)

「山崎」杉山組の入りに口で今の八幡小学校の東にそつた地域を言います。

「西の奥」入り口には共同墓地がありました。神功皇后社の東方にジヨウ山と称する台地が舌状にのびていて、台地の背でわけた、入江のような地形があり、底深い水田が長く続いていました。

「前の神」杉山組の代表的な山で、今のつづじが丘小学校付近にあり、山の神がまつられ、子供の遊び場でもあった。

「森下」自然の密林をなし、中央に湧水を集めた森下池があり自然のため池で現在もあります。

「普ケ脇」(ふがわき)杉山組の西の谷で大きな池があり(現在小)池の堤から見て奥にカンゼ山が突き出していた。杉崎・杉下一統の山之神がまつられていた。そして、日本住宅公団開発の朝倉団地(つつじが丘団地)の建設に向けて昭和四十三年から四十八年にか



西の奥付近

住宅用地として土地区画事業が始まりこれによつて杉山区の山、田、畑が造成され杉山地区に新町名として清水が丘一丁目、二丁目が昭和五十年十二月九日に効力発効日となりました。それに伴い世帯数、人口も増加の一途となりメイン通りには商店、事務所が立ち並びそれでも昔の土地、家屋の面影は残っているとこ



杉山・清水が丘本通り

第12回 わがまち再発見

「わがまち再発見」、何かないかと調べてみる。名所、旧跡：聞いたことがない。南北の主要道路名は寺本台線ではなく「廻間線」：ほんとに後からできた住宅地なんだなと思う。グーグルマップの写真を見る。やけにグラウンドの大きさが目立つ。そういえば、町内以外の人たちが最も寺本台にやってくるころといえは寺本台グラウンド。ちよつと散策してみるか、と出かけてみる。

あつたあつた、これぞ「わがまち再発見」かな。寺本台グラウンドの真ん中

寺本台

二六年度町内会長 久保田健一

に大きな樹木(き)が立っている。日頃は何気なく見上げていただけの樹木だが、今日は違つて見える。風のある夏の午後、東西南北遮るものもなくサラサラと葉の音が聞こえてくる。この樹木は、寺本台を遠くから眺めても住宅街の上を確認できる。そしてその樹木は南方から見るとまるで親子が寄り添うように大小2本で立っている。これぞ寺本台の「シンボルツリー」だと自己満足を覚える。

いつたい何という名の樹木なんだろう。近所の人に聞いてもわからない。ひとつわかったことは、この樹木は寺本台に団地ができたころに植えられたそう。今では大きい方は三〇メートルぐらいの高さだろうか。

その後、市役所で確認したところ「ナンキンハゼの樹木」であると教えていた



ナンキンハゼの木

「お断り」その後、文中の「ナンキンハゼ」の木は剪定されてしまいましたが、残念ながら、現在は写真の雄姿を見ることはできません。